

・練習プリントが難しくてできなかったとき、先生が解き方を教えてくれたのでできるようになりました。(でも完全にできるとはいえないんだけど…。)

・最初は練習プリントの問題が難しくて、ところどころしかできていませんでした。先生がプリント点検をしているときにこのことを先生に言ったら、先生は「できるところだけやっていたらそれでいいよ」って言ってくれたけど、家に帰ってからも少しだけプリントをしていました。

・最初はなかなか授業にとけこむことはできませんでした。でもやっているうちに少しずつとけこむことができてよかったです。

あなたが書いてくれた文章の中で私が最も嬉しかったのは、「(授業に) とけこむことができて」という表現です。ああ。そうなんです。数学って「わかる・わからない」、「できる・できない」がはっきりしているよね。あなたは、「練習プリントが難しくてできなかったとき」って書いているね。そのとき、ある種の《苦しさ》と格闘しなければならなかったよね。しかし、あなたはあきらめず少しずつ少しずつ《自分で》努力を続けていたね。その努力が、「(授業に) 少しずつとけこむことができてよかった」という実りにつながったんだね。そこが、すごいことだと思うんです。

私は、初めノートにかくときにおいつけなかったのがおいつくようになってよかったなあと思いました。かけ算とわり算はにがてで、大きい数になるとわかりにくくなりました。因数分解は、はじめわからなかったけど、だんだんわかってきて、よかったなあと思いました。ほんとうに楽しかったです。

あなたの続けている努力にも、これまで私はどんなに励まされたことかわかりません。あなたはいつも具体的に「自分は今どこが分か

らない・できない」というのをしっかりとピンポイントしていたよね。ここに書いてあることも、とても具体的にしっかりと自分を見つめています。あなたはさりげなく「ノートにかくときにおいつけなかったのがおいつくようになってよかった」と書いているけれど、これってすごいことだなあと思います。だって、私の授業のすごく本質的なところだから。また、かけ算とわり算についても「大きい数になるとわかりにくくなりました」と書いているね。私は、もうあなたはいつでも「わかる」ようになる、その機が熟していると思います。

今の数学は先生がいつも明るくて元気でそれで授業も結構楽しくできた。けどあまりあのテンションにはついていけない…。笑。

プリントも復習とかで使えたし、良かった。中間はあまり点数が良くて、そして期末にプリントやったら□□点になったから嬉しかった。だんだんむづかしくなってるからしっかり授業を聞いて楽しく出来たら良いなあと思っています。これからもがんばって行きたい。

そうだったね。あなたには、中間テストからあとの2週間が大きな試練だったね。私は、ずっと祈るような気持ちで、あなたを見てましたよ。しかし、その苦しい2週間をよく乗り越えたね。あなたは、気持ちの揺れが大きくて、それを人から誤解されることもあり、損をするタイプかな。だからスランプに入ると、苦しみも大きい。でも、その産みの苦しみがあるからこそ、それを通り越えてスッキリしたときには、大きな飛躍につながるんです。さらに、その苦しいときに、じつはあなた自身意識していないであろうあなたの個性が大きく輝いていたよ。

みなさん。ありがとう。みんなが書いてくれた感想をまた読み込んで、2学期の授業割りの案にします。